

# Herkules 2

## 産業用マイクロ波動作検知器

### 取扱説明書

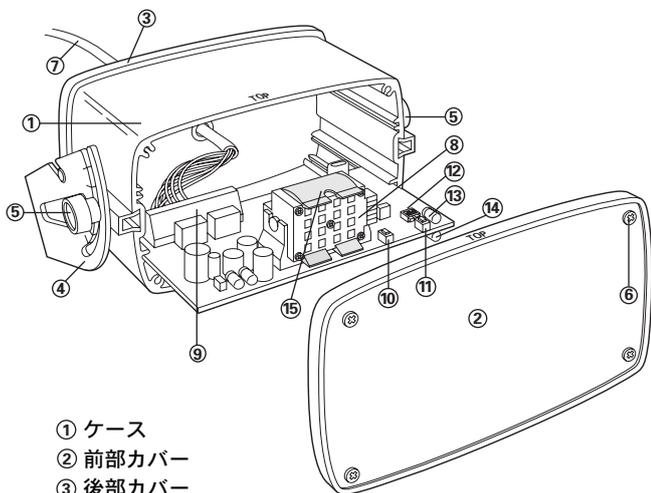
#### 1 安全の為に



同機器の操作には必ず安全な絶縁器に接続した保護低電圧を使用して下さい。販売代理店以外の方は修理を行わないで下さい。センサーの電子部分は絶対にさわらないで下さい。

#### 2 機器説明

**Herkules 2**  
産業用マイクロ波動作検知器



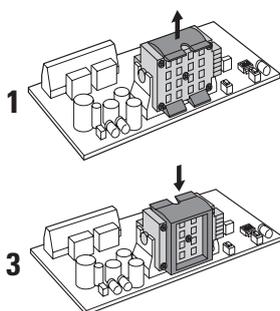
- |                |            |
|----------------|------------|
| ① ケース          | ⑩ □ ボタン    |
| ② 前部カバー        | ⑪ ▽ ボタン    |
| ③ 後部カバー        | ⑫ スイッチアドレス |
| ④ 取付ブラケット      | ⑬ 赤色 LED   |
| ⑤ 固定ネジ         | ⑭ 緑色 LED   |
| ⑥ カバー用ネジ       | ⑮ クリップ     |
| ⑦ 8ピンケーブル      |            |
| ⑧ マイクロ波平面モジュール |            |
| ⑨ ネジ電極         |            |

#### 3 設置

##### 3.1 設置の前に

**範囲形状：**広域か狭域のどちらの範囲形状が使われるかを選ぶ。クリップは広域のみに使用。

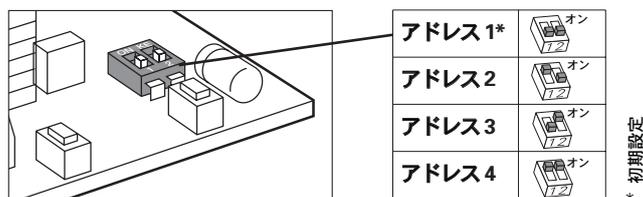
**重要：**クリップは最大4mまでの設置高で使用可能です。納品時には設置されていません。(アンテナの後ろについています。)



**重要：**  
クリップを正しくはめる。

- もし機器が既に接続されていたら、5秒間電源を切ります。
- 設置後、リモートコントロールで広範囲が作動 (B+1)。

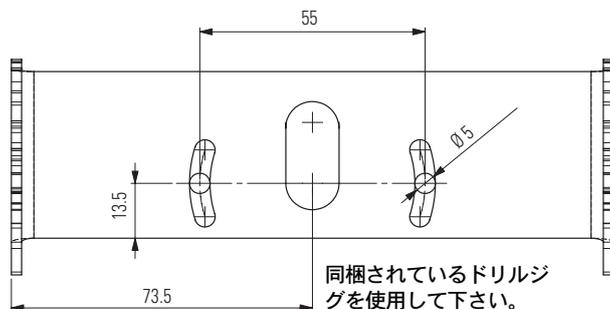
**アドレス：**各検知機はアドレスを割り当てる事が可能です。(1-4はDIPスイッチ、5-7はリモートコントロールで)。幾つかの検知器がリモートコントロール範囲内のときは、異なるアドレスが必要です。



他のアドレス5, 6+7はリモートコントロールで設定されます。(F+8+5...7)

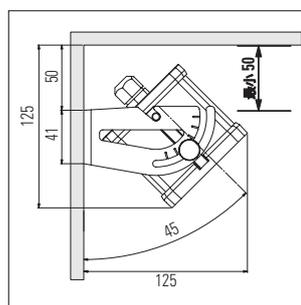
##### 3.2 機器設置

- 同機器は平ら表面 (大きな揺れの無い場所) にしっかりと取り付けて下さい。
- 植物、旗、ファンなどが検知エリア内に入り込まないようにして下さい。
- カバーやサインで検知器が覆い隠されない様にして下さい。
- 検知エリアの近辺に蛍光灯がないことを確認して下さい。
- 同機器はドアの上部の真中に設置してください。

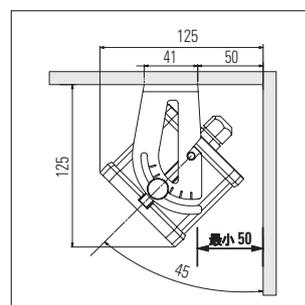


- 壁もしくは天井にドリルジグをつける。与えられた値によりドリルで穴を開ける。
- 取付ブラケットに供給された開閉を通じて、配線に十分な長さを確かめてケーブルを通す。
- 取付ブラケットを固く締める。
- 同機器を取付ブラケットに引っ掛ける、そして要求された角度で同機器をセットする。30°が標準です。
- プレートタイプに従いケーブルを接続する。

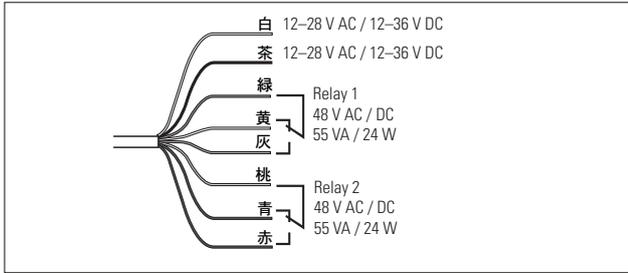
壁に設置:



天井に設置:



### 3.3 電気接続



## 4 設定

### 4.1 スイッチオンおよび初期化

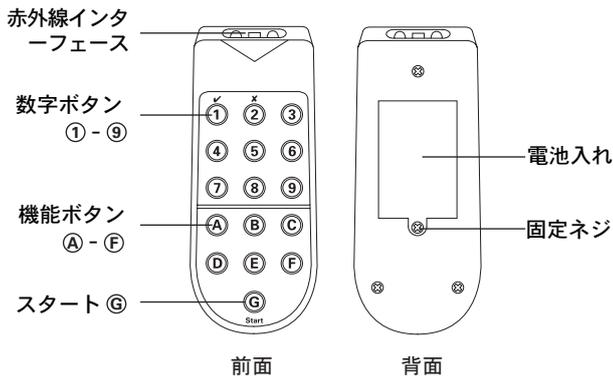
供給電圧が接続された後、赤色LEDが”スタートアップ”を点滅で示します。

初期設定は以下の場合に適しています：

- 設置位置が地上4.0-4.9m
- リレーの待機時間が2秒
- スローモーション検知がスイッチオフ
- 人と車輛の区別検知がアクティブ
- 交差交通最適化がスイッチオフ
- 検知器に向かう（前方向）動作を検知

初期設定はリモートコントロール(A+9)を使用して、いつでも復元が可能です。

### 4.2 リモートコントロールへの接続の確立



リモートコントロールの開始ボタンGを押します。接続が正しく行われた場合、Gおよび1-7のどれか一つが点灯します（検知器のアドレス）。

もしGキーが点灯していたら、接続はされていません。

- リモートコントロールをセンサーに近づけて、センサーの方に直接向けて操作してください。
- リモートコントロールの電池を確認して下さい。

#### 概要：

リモートコントロールのキーが点滅している時は、Herkules2の行われていたプログラミングは記憶されていません。  
リモートコントロールのキーがずっと点灯している時は、Herkules2により値が対応され記憶されています。

### 4.3 設定モード

Herkulesとリモートコントロールとの通信は、検知器が設定モード時のみ確立が可能です。同機器のスイッチがオンの時に設定モードが作動します。最後の設定が完了してから30分後に自動で非作動になります。

設定モードは以下の方法で起動することができます。

- 検知器のどれかのキーを押す（XまたはY）
- 電源を切る
- リモートコントロールのアクセスコードを利用する

設定モードはコードがすでに記憶されている場合のみ、リモートコントロールで起動することができます。（アクセスコード参照）

1. 開始ボタンGを押す。  
→ Gおよび1-7のどれか一つが点灯する。
2. Cを押して、次に9を押す。  
→ Cおよび1が点灯する。  
→ アクセスコード機能のスイッチが入る。
3. 4桁のコードを入力する。1111-9999
4. Cを押す。  
→ Cおよび1が点灯する。  
→ 設定モードが起動する。  
→ 検知器がプログラム設定可能になる。  
→ Cおよび2が点灯している場合、入力したコードが正しくありません。  
→ 手順1からやり直す。

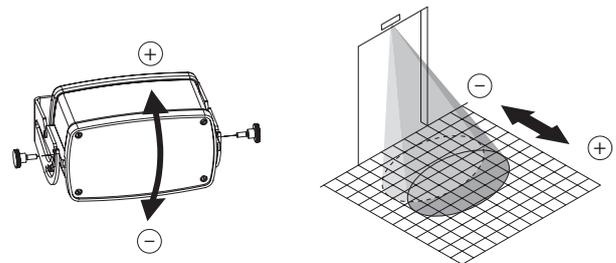
### 4.4 最重要設定

1. 追加レベルを選ぶ(C+1...8)
2. もし初期設定と違っていたら、設置高を設定する(F+4+1...7)



**重要：**もし間違った設置高が設定されていたら、検知器は正しく機能しません。

3. 範囲サイズを設定する(D+1...9)もし必要であれば0-90°の15°ずつ設定出来ます。



### 4.5 検知器の表示

#### スタートアップ時

赤色 LED	スタートアップ時は数回点滅します。始めはゆっくりで、後程速くなります。
--------	-------------------------------------

#### 設定時

緑色 LED	頻繁に点滅しパラメーター（機能番号）を表示
赤色 LED	頻繁に点滅しパラメーターレベルを表示

#### 操作時

緑色 LED	検知すると点灯、リレー2が作動
緑色 LED	SMD 範囲で検知すると点滅
赤色 LED	検知すると点灯、リレー1が作動

#### 解説

#### SMD = スローモーション検知

わずかな動作（擬似-静止）でも検知し、産業用ドアを開閉します。産業用ドアが開じられるのは、モニター設定時間の間に動きがないと記録された時です。

#### CTM = 交差交通マスキング

交差交通マスキングは、対象物が動いたり歩いたりするだけの過失による産業用ドアの開閉を防ぎます。通過は除きます。

#### P/V 認識

この機能を使うことによって、リレー出力のスイッチを、人に反応させるのか、もしくは車両へ反応させるのかを別々に選ぶことが可能になります。（リレーパラメーター設定の表を参照）

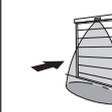
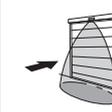
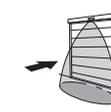
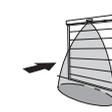
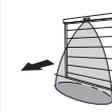
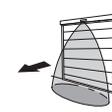
4.6 設定概要

追加機能 (5.9章参照)

ボタン	C+1 標準	C+2 正面	C+3 側面	C+4 高感度	C+5* 標準	C+6 正面	C+7 側面	C+8 高感度
検知	対象物全て				人/車輛を区別、人は抑圧			
産業ドアタイプ	標準	標準	高速産業ドア	標準	標準	標準	高速産業ドア	標準
用途	標準	前方からの交通一般	高速産業ドア	低速対象物の検知	標準	前方からの交通一般	高速産業ドア	低速対象物の検知
B: 広範囲	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ
D: 範囲	レベル 6	レベル 6	レベル 6	レベル 8	レベル 6	レベル 6	レベル 6	レベル 8
E+1: 方向認識	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向	レベル 1 前方向
E+2: リレーパラメーター	レベル 5 R2: 前方向 R1: 後方向	レベル 5 R2: 前方向 R1: 後方向	レベル 8 R2: 前方向 R1: 後方向	レベル 5 R2: 前方向 R1: 後方向	レベル 1 R2: 人 R1: 車輛	レベル 1 R2: 人 R1: 車輛	レベル 6 R2: - R1: 車輛	レベル 1 R2: 人 R1: 車輛
F1: リレー待機間隔	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒	レベル 4 2秒
F3: SMD	レベル 1 オフ	レベル 2 弱	レベル 1 オフ	レベル 8 強	レベル 1 オフ	レベル 2 弱	レベル 1 オフ	レベル 8 強
F4: 設置高	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m	レベル 4 4.0-4.9 m
F5: 交差交通	レベル 1 オフ	レベル 6 中	レベル 1 オフ	レベル 2 弱	レベル 1 オフ	レベル 6 中	レベル 1 オフ	レベル 2 弱
F6: デジタルフィルター機能	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ	レベル 2 オフ
F7: SMDフィルター機能	レベル 1 小	レベル 5 中	レベル 1 小	レベル 5 中	レベル 1 小	レベル 5 中	レベル 1 小	レベル 5 中
F8: アドレス	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから	DIPスイッチから

\*初期設定

リレー パラメーター設定 (5.13章参照)

E+2	1	2	3	4	5	6	7	8
用途	標準				高速産業用ドア			
リレー2 (緑色LED)				 	 		 	 
								
リレー1 (赤色LED)					 			 
								



スイッチは車輛に反応



スイッチは人に反応



スイッチの検知方向 (E+1+1)



スイッチの検知方向 (E+1+1もしくはE+1+2)

パラメーター	ボタンコード	レベル	詳細	
アクセスコード要求	C+9	ディスプレイ1 ディスプレイ2	コード記憶 コードなし	
コードの設定 コードの入力 コードの削除	C+9	XXXX+C XXXX+C 9999+C	1111-9998 で設定、Cで確認 コードの入力、Cで確認 コードの削除	
アドレス設定	F+8		目的アドレスのデータを取り出す	
		5-7	アドレス 5-7 の設定	
		9	DIP スイッチからのアドレスを示す	
追加機能	C	1-8	追加機能の表を参照	
設置高	F+4	1	2.0 - 2.4 m	
		2	2.5 - 2.9 m	
		3	3.0 - 3.9 m	
		4*	4.0 - 4.9 m	
		5	5.0 - 5.9 m	
		6	6.0 - 6.9 m	
		7	7.0 m	
範囲	D	1-3	少	
		4-6*	中	
		7-9	大	
リレー待機間隔	F+1	1	0.2 秒	
		2	0.5 秒	
		3	1.0 秒	
		5	5.0 秒	
		4*	2.0 秒	
		5	5.0 秒	
方向認識	E+1	1*	前方	
		2	後方	
		3	前方および後方	
リレーパラメーター	E+2	1*	標準産業用ドア、人/車輛区別検知	
		2	標準産業用ドア、人抑制	
		3	標準産業用ドア、車輛抑制	
		4	標準産業用ドア、人および車輛、同じ出力	
		5	標準産業用ドア、人および車輛、方向分離の出力	
		6	高速産業用ドア、人抑制	
		7	高速産業用ドア、人および車輛、同じ出力	
		8	高速産業用ドア、人および車輛、方向分離の出力	
CTM 交差交通マスキング	F+5	1*	オフ	
		2-3	低	
		4-6	中	
		7-9	高	
広範囲	B	1	オン	
		2*	オフ	
スローモーション 検知 (SMD)	F+3	1*	オフ	感度減少
		2	0.5 秒	
		3	1.0 秒	
		4	1.5 秒	
		5	2.0 秒	一定感度
		6	0.5 秒	
		7	1.0 秒	
		8	1.5 秒	
		9	2.0 秒	
SMDの検知範囲	F+7	1*-3	少	
		4-6	中	
		7-9	大	
デジタルフィルター機能	F+6	1	オン	蛍光灯管による誤った遮断を回避
		2*	オフ	
手動産業ドア開閉	A	1	両リレーのスイッチオフ	
		2	リレー1のスイッチオン	
		3	リレー2のスイッチオフ	
設定モード終了	A	4		
リセット	A	9	再初期化	

## 5 機能および設定の説明

### 5.1 リモートコントロールの概要説明

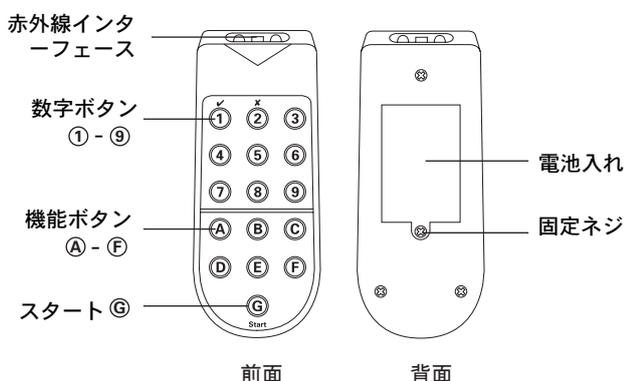
Reglobeamリモートコントロールをご利用頂くと、Herkules2を地面から簡単に便利にプログラム設定することができます。ReglobeamとHerkules2の間のデータ通信は、赤外線インターフェースによる確実な双方向通信です。Reglobeamで行った設定値はプログラム後直ちに表示され、コントロールの為の確認を行うことができます。これにより、安全で正確なプログラム設定が可能となります。

### 5.2 «Reglobeam»リモートコントロールの機能

Reglobeamリモートコントロールは、機能ボタンと数字ボタンの組み合わせで機能します。正しい操作方法については、4.2章をご参照下さい。

Reglobeamのボタンが点滅している場合は、データ送信が完全に行われていません。赤外線インターフェースは直射日光や直接光源のもとにさらさないで下さい。

### 5.3 «Reglobeam»リモートコントロールのレイアウト

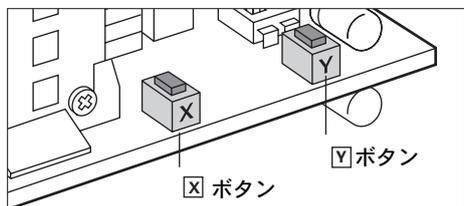


### 5.4 設定モード

Herkules2とリモートコントロールとの通信は、検知器が設定モード時のみ設定可能です。同機器のスイッチがオンの時に設定モードが作動します。安全上の理由から、検知器上での最後の設定が完了してから30分後に自動で非作動になります。A+4ボタンを押すことにより、いつでも設定モードを終了出来ます。

設定モードは3つの異なる方法で起動することができます。

a) 検知器のどれかのボタンを押す (Xまたは Y)



b) 検知器の再起動 (電源を切る)

c) リモートコントロールのアクセスコードを利用する

### 5.5 接続の確立

リモートコントロールの開始ボタン G を押します。

→ もし接続が正しく確立された場合、G および 1-7 のどれか一つのボタンが点灯します (検知器のアドレス)。

→ もし G キーが点滅していたら、接続は確立されていません。

→ リモートコントロールを検知器に近づけて、センサーの方に直接向けて操作してください。

→ リモートコントロールの電池を確認して下さい。

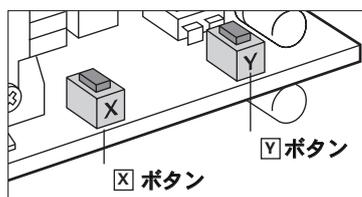
→ もし光ってなかったら電池を交換してください。

→ これ以上の可能な設定がないにも関わらず、G および 1-7 のボタンが点灯している場合は、設定モードは非作動です。

個別のパラメーターの概要および追加レベルの設定は、最初の部分(4.6章)を参考にしてください。

**重要:** プログラム設定は30秒以内に行ってください。30秒を過ぎると、再度設定し直す必要があります。(Gボタンを押す)

### 5.6 ボタンを使用した設定



**手順**  
両方のXとYボタンを同時に押して必要なモードにアクセスする

**初期モード:**

2つのボタンを同時に2秒間押す。

→ 緑色 LED が点灯したら、離します。

**2次モード:**

2つのボタンを同時に4秒間押す。

→ 赤色 LED が点灯したら、離します。

**リセット**

2つのボタンを同時に8秒間押す。

→ 両 LED が点灯したら、離します。

モード	パラメーター (Xボタン)	機能番号	Yボタンのレベル
初期	追加レベル	1	1-8
	設置高	2	1-7
	リレーパラメーター設定	3	1-8
	範囲	4	1-9
2次	リレー待機間隔	1	1-5
	方向認識	2	1-3
	交差交通マスキング	3	1-9
	広範囲	4	1-2
	SMDレベル	5	1-9
	SMD範囲	6	1-9
	デジタルフィルター機能	7	1-2

**機能変更**

Xボタンを押す。1回ボタンを押すごとに値が増えます(機能番号)。最後の機能に到達した時点で、プログラムは最初の機能に戻ります。そして緑色 LED が作動している機能の番号を示します。

**レベル変更**

Yボタンを押す。1回ボタンを押すごとに値が増えます(レベル)。最後のレベルに到達した時点でプログラムは最初のレベルにもどります。

**プログラムモードの終了**

XとYの両ボタンを同時に短く押してプログラムモードを終了する。

## 5.7 検知器の調整

設定の識別は以下：

例 D+... リモートコントロールメニュー

例 P.1... ボタンを使用した初期プログラムモード、機能番号1

例 S.3... ボタンを使用した二次プログラムモード、機能番号3

## 5.8 設置高 F+4

F + 4 + 1...7      P.2+1...7 (ボタン)

1 = 2.0 ~ 2.4 m

5 = 5.0 ~ 5.9 m

2 = 2.5 ~ 2.9 m

6 = 6.0 ~ 6.9 m

3 = 3.0 ~ 3.9 m

7 = 7.0 ~ 7.9 m

4 = 4.0 ~ 4.9 m

もし初期設定が合わなかったら、設置高の調整が必要です。

## 5.9 快適機能C

この設定済みプログラムを利用すると、標準用途の設定を簡単に素早く行うことができます。

リモートコントロール	機能	ボタン
C + 1	標準、すべての対象物を検知	P.1+1
C + 2	前方交通、すべての対象物	P.1+2
C + 3	高速産業用ドア、すべての対象物	P.1+3
C + 4	低速検知、すべての対象物	P.1+4
C + 5	標準、人/車輛区別検知	P.1+5
C + 6	前方交通、人/車輛区別検知	P.1+6
C + 7	高速産業用ドア、人抑制	P.1+7
C + 8	低速検知、人/車輛区別検知	P.1+8

**重要：**パラメーターに変化がないような場合のみ、選ばれた追加機能が復唱され表示されます。詳細は 4.6 章にある追加機能一覧表を参照下さい。

## 5.13 リレーパラメーター設定 E+2

リモートコントロール	機能	ボタン
E+2+1	標準産業用ドア、人/車輛区別検知1	P.3+1
E+2+2	標準産業用ドア、人抑制	P.3+2
E+2+3	標準産業用ドア、車輛抑制	P.3+3
E+2+4	標準産業用ドア、人および車輛、同じ出力(リレー2)	P.3+4
E+2+5	標準産業用ドア、人および車輛、方向分離の出力	P.3+5
E+2+6	高速産業用ドア、人抑制(リレー2)	P.3+6
E+2+7	高速産業用ドア、人および車輛、同じ出力(リレー2)	P.3+7
E+2+8	高速産業用ドア、人および車輛、方向分離の出力	P.3+8

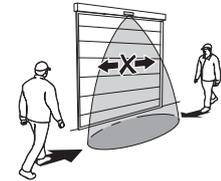
同様に4.6章に示されているリレーパラメーターの設定の表も参照下さい！

## 5.14 交差交通マスキングCTM F+5

交差交通マスキングは、産業用ドアの、対象物が動いたり歩いたりするだけの過失による開閉を防ぎます。通過は除きます。

F + 5 + 1 = オフ      S.3 + 1  
F + 5 + 2...9      S.3 + 2...9

産業用ドアは通過する交通に対し閉じたままである。(レベル9)



産業用ドアは対象物が横方向(側面)の角度から近づいた場合に開く(レベル1)



交差交通機能の最適角度は30°-45°です

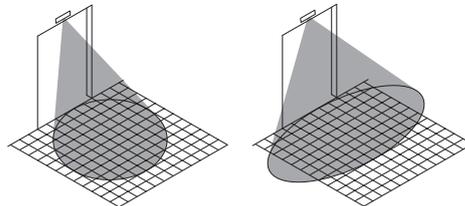
**交差交通マスキングはクリップとは併用できません！**

## 5.15 広範囲B

B + 1 = オン      S.4 + 1  
B + 2 = オフ      S.4 + 2

クリップなし

クリップあり



クリップを広範囲の設定に使用する場合、必ずこの機能を起動して下さい。詳しくは3.1章のクリップの設置をご参照下さい。

**!** 設定が間違っていると検知器は機能しません。

## 5.16 スローモーション検知(SMD) F+3

わずかな動作(擬似-静止)でも検知し作動します。設定されたモニター時間の間に、もし動きがなかった時のみ産業用ドアコントローラと検知器の信号が対応となります。このモニター時間の間の感度は、一定が続くかもしくは減少が設定されます。

## 5.10 範囲D

D + 1...9      P.4+1...9 (ボタン)

レベル1 (最小範囲) ~ 9 (最大範囲)

範囲寸法については、技術データをご参照下さい。

## 5.11 リレー待機間隔F+1

F + 1 + 1...4      S.1 + 1...5 (ボタン)

1 = 0.2 秒

2 = 0.5 秒

3 = 1.0 秒

4 = 2.0 秒

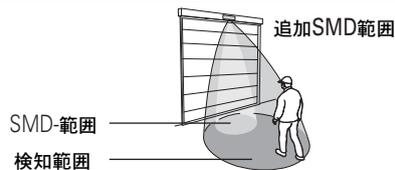
5 = 5.0 秒

リレー待機間隔は、他の機能が完了(遅延)してから開始します。

## 5.12 方向認識E+1

リモートコントロール	機能	ボタン
E+1+1	前方向、検知器に向かってくる対象物を検知	S.2+1
E+1+2	後方向、検知器から遠ざかる対象物を検知	S.2+2
E+1+3	前方向および後方向	S.2+3

リモートコントロール	機能	ボタン
F+3+1	オフ	S.5+1
F+3+2...5	感度減少	S.5+2... 5
F+3+6...9	一定感度	S.5+6... 9



## 5.17 特別な設定

### マニュアル産業用ドア開閉

- A + 1 = 両リレーオフ
- A + 2 = リレー1オン
- A + 3 = リレー2オン
- A + 4 = 両リレーオフ、設定モード終了

### リセットA+9

この機能は、すべての同機器のパラメーターをリセットして初期設定値に戻します(4.1章参照)。その後ふたたびスイッチを入ると新しく初期化を開始します。

リセットはアクセスコードも消去します。同機器を初期設定にリセットするには以下の2つの方法があります。

- 1) リモートコントロールを使用する方法

A + 9 = リセット

- 2) ボタンを使用する方法

XボタンとYボタンを同時に8秒間押す。

両方のLEDが短く2秒ごとに点灯します。両LEDが8秒後に点灯します。ボタンを離れた時点でリセットされます。

### アクセスコード

Herkules2は、誤操作を防ぐために4桁のアクセスコードを使用することができます。このアクセスコードを利用して、リモートコントロールから設定を行う為に設定モードをいつでも再作動することができます。初期設定ではこの機能はオフになっています。

#### アクセスコードのスイッチオン：

センサーが設定モードになっている時のみ、コードは記憶されます。コードが記憶されると、すぐに同機器は保護されます。(設定モードが非作動となる。)

1. 開始ボタンGを押す。  
→ Gおよび1...7のどれか一つが点灯する。
2. Cを押して、次に9を押す。  
→ Cおよび2が点灯する。  
→ アクセスコード機能がスイッチオフになる。(コード保存なし)
3. 4桁のコードを入力する。(1111-9998までの数字どれでも)
4. Cを押す  
→ C+1が点灯する。  
→ アクセスコード機能がスイッチオンとなる。(コードが保存) 設定モードが非作動となる。(同機器は保護される。)

#### アクセスコードのスイッチオフ：

センサーが設定モードになっている場合のみ、コードを解除することができます。

1. 開始ボタンGを押す。  
→ Gおよび1...7のどれか一つが点灯する。
2. Cを押して、次に9を押す。  
→ C+1が点灯する。  
→ アクセスコード機能のスイッチが入る。
3. 9を4回押して、Cを押す。  
→ Cおよび2が点灯する。  
→ アクセスコード機能のスイッチがオフになる。(コードが削除される。)

### 設定モードの起動

リモートコントロールをHerkules2との間の接続は、同検知器が設定モードになっている場合のみ確立可能です。設定モードは

同機器がスイッチオンのときに作動されます、検知器上での最後の設定が完了してから30分後に自動で非作動になります。

設定モードの作動は以下です：

- 検知器のボタンのどれかを押す (xもしくはy)
- 電源を切る
- リモートコントロールのアクセスコードを利用する

事前にコードが保存されている時のみ、設定モードはリモートコントロールを使用して作動されます。(アクセスコード参照)

1. 開始ボタンGを押す。  
→ Gおよび1...7のどれか一つが点灯する。
2. Cを押して、次に9を押す。  
→ Cおよび1が点灯する。  
→ アクセスコード機能がスイッチオンになる。
3. 4桁のコードを入力する。(1111-9998)
4. Cを押す。  
→ Cおよび1が点灯する。  
→ 設定モードが作動される  
→ 同機器のプログラムの準備が出来る  
→ もしコードが正しくなかったら、Cおよび2が光る。  
→ 手順1から再度繰り返す

### リモートコントロールなしでのアクセスコードのスイッチオフ (コード削除)

XおよびYボタンを同時に8秒間押す。両方のLEDが短く2秒ごとに点灯します。

- 同機器は初期設定にリセットされる
- アクセスコード機能のスイッチオフ
- (コードが削除される。)
- 初期化され、自己学習時間を開始する。(4.1章参照)

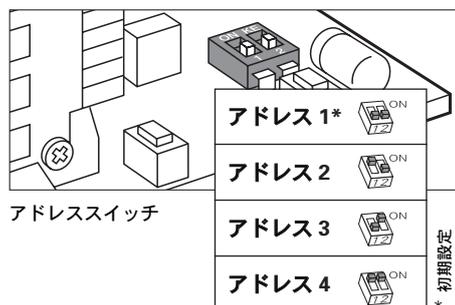
### デジタルフィルター機能

特別な設置状況下では、フィルター機能を起動させる必要があります。検知器の近くに妨害源がある場合、誤作動が生じることがあります。

- F + 6 + 1 = オン      S.7 + 1
- F + 6 + 2 = オフ      S.7 + 2

### Herkules2のアドレス

Herkules2にReglobeamリモートコントロールとの通信の為に7種類のアドレスを選択することができます。アドレス1-4は内蔵されているDIPスイッチに使われています。



アドレス5-7はリモートコントロールで使用されます。

- F + 8 + 5 = アドレス5
- F + 8 + 6 = アドレス6
- F + 8 + 7 = アドレス7
- F + 8 + 9 = DIPスイッチからの設定アドレスを読み込みます。

もし検知器が隣もしくは反対側に設置され、同じリモートコントロールの範囲にあつたら、違うアドレスを設定しなくてはなりません。

## 6 故障修理

症状	考えられる原因	解決策	参照する章
産業ドアが反対	検知器が産業ドアを検知	マイクロ波モジュールの角度を変える	4.4
産業ドアが開いている-間違っただけ	干渉となるものがマイクロ波範囲にある。(例: 蛍光灯など)	干渉抑制フィルターを作動する(F6+1)	5.17
人の検知が遅い、もしくはしない	範囲が狭すぎる。設置高が間違っただけ設定されている。	範囲を確認する (D1...9) 正しい設置高を設定する (F4+1...7) 広範囲の設定を確認する	5.10 5.8 5.15
人/車輛区別検知が機能しない	間違っただけ設置高である	正しい設置高を設定する (F4+1...7) 広範囲の設定を確認する	5.8 5.15

## 8 技術データ

技術	平面モジュール付ドップラーレーダー
送信周波数	24.05–24.25 GHz
送信電力	< 20 dBm
運転電圧	12–28 VAC, 12–36 VDC
運転電流	最大 75 mA
メイン周波数	50 Hz
運転温度	–30° ~ 60°C
湿度	0% ~ 95% 相対、結露、凝縮なし
設置高	2.0 ~ 7 m
リレー出力	電位フリー チェンジオーバー接触
スイッチ電圧	最大 48 VAC/DC
スイッチ電流	最大 0.5 A AC
材質	アルミニウム黒カバー ポリカーボネート
サイズ	134 x 82 x 75 mm
重量	720 g (ケーブル込み)
耐水性 (EN 60529)	IP 65
最大検知速度	車輛に対して 25km/時間
ケーブル	長さ 5 m, 8 x 0.14 mm <sup>2</sup>
許認可	CE 0682 ! / FCC / IC
適応国	EU, EFTA, US, CA
範囲寸法 (30°で)	2.5 m x 3 m (幅×奥行) 高さ2m から5m x 7m (幅×奥行) 高さ7mまで

### FCC 認可

この装置は、FCC規定のパート15とカナダ産業のRSS-210に準拠しています。

以下の二つの状態を条件として、作動されます。

- この装置は、有害な妨害を引き起こさないでください、そして
  - この装置は、いかなる妨害も受け入れなければなりません。
- 望まれない操作を引き起こす妨害も含まれます。

この機器は、FCC規定のパート15に準じ、デジタル装置のクラスB制限に応じてテストされてきました。これらの制限は、居住に適した設置の中で、有害な妨害に対して適応した保護を供給するために設計されました。本機は電磁波を発生し外部に放射することがあります、そしてもし説明に準じて、取り付けられなかったり、使われなかったりしたら、無線通信に有害な妨害を引き起こすかもしれません。しかしながら、特殊な設置による妨害が引き起こされないという保障はありません。もしこの機器が付けたり消したりすることによって、ラジオやテレビの電波受信状態に有害な妨害を引き起こすならば、使用者は、一つもしくは幾つかの下記の目安で妨害を正すように推奨されます。

- 受信アンテナを再設置もしくは再設定します。
- 機器と受信機の距離を離します。
- 受信器が接続されているコンセント回路と機器が接続されている回路を変えて接続します。
- 販売者に相談する、もしくは経験のあるラジオ/テレビ技術者に助力を求めます。



**警告:** Bircher Reglomat AGによる、明確に承認されていない変更もしくは修正を行った場合、この機器のFCC承認による操作は無効になります。

## 保証および責任

1. Bircher Asia Pacificの保証および責任は販売契約に基づきます。
2. お客様または第三者が商品を説明書に沿って使用しなかった場合、あるいは不適当な改造や修理を行った場合、また、故障の際にお客様または第三者が損害を減らすための適切な処置を直ちに行わず、当社に改善の機会を与えない場合には、当社の保証および責任は無効となります。
3. 保証および責任は、材質、製造、技術の不良が確認されない場合の損害、または当社が責任を負えないその他の理由により生じた損害には適用されません。
4. 製造物責任法が適用されない場合、重大な損害の責任は負いかねます。
5. 販売契約に基づいて販売者に対して請求される保証は、これらの法規の影響をうけません。
6. Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd.はお客様のため製品の改良を常時行います。当社はこれらの書類に記載された製品に対し、事前の通知なしに変更する権利を有します。

### EU 適合宣言

Bircher Reglomat AGはHerkules2が1999/5/EG指令に含まれる通り、基本的な要件および関連した規制に適合していることをここに宣言します。

適合宣言の全文は以下のウェブサイトでご覧頂けます。

[www.bircher-reglomat.com](http://www.bircher-reglomat.com)

### お問い合わせ先

#### Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd.

(Co. Reg. No.: 260319-T)  
No. 3A, Jalan Dewani 1/1  
Taman Perindustrian Dewani  
81100 Johor Bahru  
Johor, Malaysia  
Phone ++60 7 276 18 10  
Fax ++60 7 276 18 11  
[www.bircher-reglomat.com.my](http://www.bircher-reglomat.com.my)  
[info@bircher-reglomat.com.my](mailto:info@bircher-reglomat.com.my)